



よろこばせごっこ ~上組っ子通信~

No.27

令和2年12月22日

学校の教育目標；五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成

五ヶ瀬町立上組小学校 TEL 0982-82-0212 FAX 0982-82-0229 文責；校長 三橋正洋

「よろこばせごっこ」、よくがんばりました

2学期が終わります。1学期同様、新型コロナウイルス感染症対策で、いろいろな制約を受けた生活でした。しかし何より感謝したいのは、上組っ子の笑顔をいつも見ることができたことです。今月に入り、寒い日が続くようになりましたが、子どもたちがいつものように元気に登校してくる姿を見て勇気づけられました。「学校って素晴らしい」と何度も思いました。だからこそ、これまでのように地域との交流ができない分、少しでもこの子どもたちの笑顔と元気を学校外へ伝えたい、と出てきました。今後も、この思いを強くもち、地域みなさんに「元気と笑顔」を届けられるように、上組っ子とともに頑張っていきたいと思えます。

さて本日の終業式では、下のような話をしました。

いよいよ2学期が終わります。最後の学期を迎える前に、ぜひ自分の姿をふりかえり、次への成長への力としましょう。

今日は「よろこばせごっこ」を通して、みなさんの学校生活を振り返っていきたく思います。「よろこばせごっこ」を、学校、地域、地球の3つからふりかえてみます。

① 学校（ともだちと）のよろこばせごっこ

- ・入学式では、新入生二人を温かく迎えるために「よろこばせごっこ」式あいさつをしました。
- ・なかよし集会では、友達のよさを出し合い、嬉しかったり、温かい気持ちになったりしました。

② 地域とのよろこばせごっこ

- ・運動会では、「笑顔・元気プロジェクト」を立ち上げ、プログラムや放送等の工夫をしました。
- ・残暑お見舞いや運動会メッセージ等、地域の方へのはがきを送り、返信もいただきました。
- ・テレビや新聞等に積極的にアプローチし、報道されたニュースは延べ12件、作文等の作品は9人出ました。また作品応募は全員で関わりました。おかげで上組小ブログ「阿蘇望通信」は4月から100件の更新をすることができました。これも、上組っ子のみんなのおかげです。

③ 地球とのよろこばせごっこ

- ・環境教育推進校として、いろいろな方に力を貸していただきながら、4RやSDGsの学習をしてきました。夏休みや冬休み、そして朝ボランティア等の活動を通して、学校や家庭、地域への活動を、少しずつ深めています。この活動のまとめを2月にする予定です。

もう一つの「よろこばせごっこ」は「家庭との」です。冬休みはこのことを意識して、自分も高めていきましょう。3学期、どういう家庭での「よろこばせごっこ」をしたか、教えてください。

最後に、先生がとても嬉しかったこと、それは、「帰りの会で“よろこばせごっこ”をしています」とか「5つのチャレンジ」を頑張っていますよ」…こういう話を聞く時です。みんなが一生懸命頑張っている姿が「よろこばせごっこ」です。これからも笑顔いっぱい「よろこばせごっこ」の輪を広げていきましょう。

本日、「上組っ子 5つのチャレンジ」(返事・反応・先手必笑・整理整頓・よろこばせごっこ)の2回目の調査を行いました。2学期から始めたチャレンジですが、返事や反応は、見るからによくなってきたように感じます。ご家庭でも、ぜひ「5つのチャレンジ」を子どもと一緒に話して、将来への生きる力を高めていただけるとよいかと思います。なおこの調査結果は、1月にお知らせします。

地球との「よろこばせごっこ」活動②

18日(金)、えこる(五ヶ瀬町地球温暖化防止推進員)の方々をお招きして、4RそしてSDGsの学びを生かした、冬休みとこれからの朝ボランティア活動の計画づくりをしました。夏休み前にも行いましたが、この4か月で意識も向上し、自分たちで随分充実した話し合いができるようになりました。「この活動はSDGsの11番」等の発言もあり、少しずつ内容も深まってきました。さあこれから、まずはやってみて「地球とのよろこばせごっこ」を進めていきましょう!



◇ 「あゆみ」を囲んで家族会議(!?)

本日、「あゆみ」を渡しました。どうしても“学習の様子”の評価に目が行きがちですが、五ヶ瀬町や本校でも取り組んでいる非認知能力にあたる“おこないの様子”も目を通していただき、ソフトタッチの気軽な家族会議(!?)を開いてください。総合所見には具体的に様子も書いてあります。子どもの頑張りを認め、ほめるチャンスのお機会として、ぜひ「あゆみ」をご活用ください。

◇ お知らせです◇

嬉しいニュースです。養護教諭の楯岡先生が、この度ご懐妊されました。4月に第2子を出産される予定とのこと。3月位から1年間ほどお休みをすることになり、寂しくなりますが、それまでみなさんと一緒にたくさんの思い出をつくりましょう。コロナ禍で、こういうニュースは本当に明るくなりますね!

◇ お礼◇

もうすぐ令和2年が終わります。今年に入り、厳しい毎日が続いていますが、みなさんの温かいご支援をいただきながら、毎日充実した学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。来年こそは「当たり前な生活」ができますように…と心から祈りながら…みなさま、よいお年をお迎えください。そして来年もよろしくお祈りいたします。



日本郵便株式会社HPからです。とても素晴らしいアイデアですね!